

お互いの力で、お互いを支え合うまちづくりを！
「困りごと・ニーズ調査」結果から次のステップづくりを！！

荒井地区支え合いづくり協議会では、安全で安心して生き生きと暮らしていける環境づくりを目指して、様々な団体が活動しています。

その中で、先般、荒井地区民生委員児童委員会の協力の下、「困りごとアンケート調査」を実施しました。対象者は70歳以上ひとり暮らし、75歳以上二人暮らし、障がいのある方々から無作為に100名の方をお願いしたところ、49名の方から回答を得ました。

アンケートの内容と結果は次の通りです。

《アンケート内容》

困りごと	
1.ゴミ出し(燃やすゴミ)	12.買い物代行
2.ゴミ出し(粗大ゴミ・缶・ビン等)	13.蛍光灯、電球の交換
3.そうじ、洗濯	14.高い所の物を取る等
4.食事の準備、後片付け	15.敷地内の除草、剪定、枝打ち等
5.日常の送迎(買い物・金融機関等)	16.スマホ・パソコンの使い方
6.病院への送迎	17.時計、リモコン等の設定復旧
7.新聞・チラシを束ねる等	18.安否確認
8.お薬の仕分け、服薬の声かけ	19.話し相手がいない
9.書類等への記入	20.その他
10.室内の簡単な修理や修繕	21.困りごとがない
11.家具の移動	

《アンケート結果》

アンケートの結果、「困っていること」、「頼みたいこと」の上位5つは次の通りです。

困っていること	頼みたいこと
ゴミ出し(粗大ゴミ・缶・ビン等)	敷地内の除草、剪定、枝打ち等
高い所の物を取る等	高い所の物を取る等
室内の簡単な修理や修繕	蛍光灯、電球の交換
敷地内の除草、剪定、枝打ち等	室内の簡単な修理や修繕
家具の移動	病院への送迎

○具体的なご意見も寄せられました。

- ・今のところ大丈夫だが、そのうちできなくなると思う。家の修理、大工仕事、買い物、お風呂掃除、病院への行き帰りなどなど、誰にお願いすればよいのか。(いくつかのご意見を集約)
- ・バスの回数が少なく、何か交通手段があればよいと思う。
- ・今のところ娘や主人が買い物の手助けをしてくれるので助かっている。

○回答していただいたうちの約4割が困りごとがないとのことでした。(今の段階で)

今回のアンケート調査をもとにして、今後の取り組みを進めたいと思います。

高砂市内他地区の取り組みの様子の紹介

○阿弥陀地区 有償ボランティア 魚橋北おたすけ隊「ねこの手」

令和4年度に阿弥陀地区支え合いづくり協議会で、「困りごと・ニーズ」アンケート調査実施(対象:70歳以上ひとり暮らし・75歳以上二人暮らし高齢者)。その結果、阿弥陀地区全体で考える課題(移送問題、災害時の避難等)、単位自治会等で考える課題(ゴミ出し・電球の交換、日常生活の困りごと)や、「今、現在は困っていないが、数年後～将来困ると思う」という心配の声も多く聞かれていた。

そこで、次のような取り組みをスタート。令和5年5月、「担い手募集」をし、高齢者の方(ひとり暮らし・二人暮らし)、障がいのある方、病気や育児中の方、また妊産婦の方々の日常生活でのちょっとした困りごとをお手伝いする団体として立ち上げ(阿弥陀地区支え合いづくり協議会の一環として)。隊員数は12名(男性5名、女性7名)、対価は利用者(依頼者)と支援者(ボランティア)の対等感を維持するため有償とした。

○北浜地区 有償ボランティア 北脇手伝い隊「てったい隊」

地域の課題として、地域交流の希薄化、地域で住まれている認知症の方の増加、超高齢化といったことがあり、北脇地区の課題としては、地域の福祉の担い手不足、小地域福祉活動において元気な高齢者は参加できるが気になる高齢者の参加が少ない。困りごとの相談を受けても解決する手段がないなど、出てきている。そこで課題解決に向けた取り組みを行う中、北脇手伝い隊(てったい隊)の設立準備を進め、令和6年5月より活動を開始した。

1 有償ボランティア組織で、生活面での困りごとを解決する。

2 隊員数は15名(男性8名、女性7名)。



○活動での課題

- ・相談件数が少ない。 → チラシの定期的配付(住民への認知度アップ)や声掛け活動
- ・隊員数が少ない。 → 活動の周知(広報方法と募集方法)と活躍の場づくり
- ・支援活動をどの分野までするのか。 → できない依頼を本職につなぐネットワークづくり 等々

スタートされ取り組まれています、それぞれの地区においてもまだまだ課題が山積しています。荒井地区でも様々な課題をどう解決していけばよいのか、どんな取り組みをしていけばよいのかが求められています。ぜひ、皆さんと一緒に考え、スタートさせていけるようご支援ご協力をお願いいたします。

高砂市高齢者等見守りSOSネットワーク 模擬訓練を実施

令和6年12月1日(日)10:30から荒井地域交流センターにて標記の取り組みを実施しました。高砂警察署、高砂市地域福祉課、高砂市地域包括支援センターの方の説明を受け、模擬訓練を行いました。この取り組みは、行方不明の恐れのある認知症高齢者等を日頃から地域で見守り、行方不明になった場合に協力機関・協力者へメールを配信して、捜索活動を依頼して早期発見ができる仕組みづくりをしている



ものです。今回、東本町自治会と福祉部会の皆さんが模擬訓練に参加して、実際の場面に出くわした場合、有効活用ができるよう取り組んでいきたいと思えます。登録については、高砂市地域福祉課(079-443-9026)、高砂市地域包括支援センター(079-443-3723)にお問い合わせください。

発行責任者 荒井地区支え合いづくり協議会 会長 福本隆文

事務局 社会福祉法人 高砂市社会福祉協議会地域福祉課 TEL 443-3725 FAX 443-0505

担当者 第2層生活支援コーディネーター 小西弘美